

【資料 10-1】

放射線治療の均てん化・集約化についての検討

2026 年 8 月 3 日

北海道がん診療連携協議会医療部会

- 放射線治療需要の将来予想をもとに、北海道における放射線治療の均てん化・集約化の検討をする予定としていた。
- この度、下記 3 つの国配布および公表データに基づき、2040 年と 2050 年における放射線治療可能二次医療圏毎の放射線治療需要推計を行い、本年 8 月 3 日に開催された北海道がん診療連携協議会ベンチマーク部会、において了承された(資料 10-2、参考資料 2)。
 - ① 2025 年 10 月作成の厚生労働省健康・生活衛生局 がん・疾病対策課「がん罹患患者数及び新規診断時の三大療法別需要推計データの概要」に記載された二次医療圏毎の需要推計
 - ② 2026 年3月に公表された北海道のがん登録状況に記載された 2016 年から 2021 年に診断された患者の二次医療圏別放射線治療受療動向
 - ③ 第11回 NDB オープンデータ(2024 年 4 月から 2025 年 3 月) 記載のレセプトデータ
- 今後、本推計をもとに医療圏毎に説明を行い、各拠点病院に設置されている放射線治療装置数およびそれらの更新時期等を勘案しながら均てん化・集約化の議論を進めてはどうか。